

24時間カラフルな映像を実現
暗闇でも、カラフルな世界へ



UNISOL

HIKVISION製監視カメラ ColorVuシリーズ ご紹介

株式会社セキュリティデザイン

© MARUKA FURUSATO CORPORATION

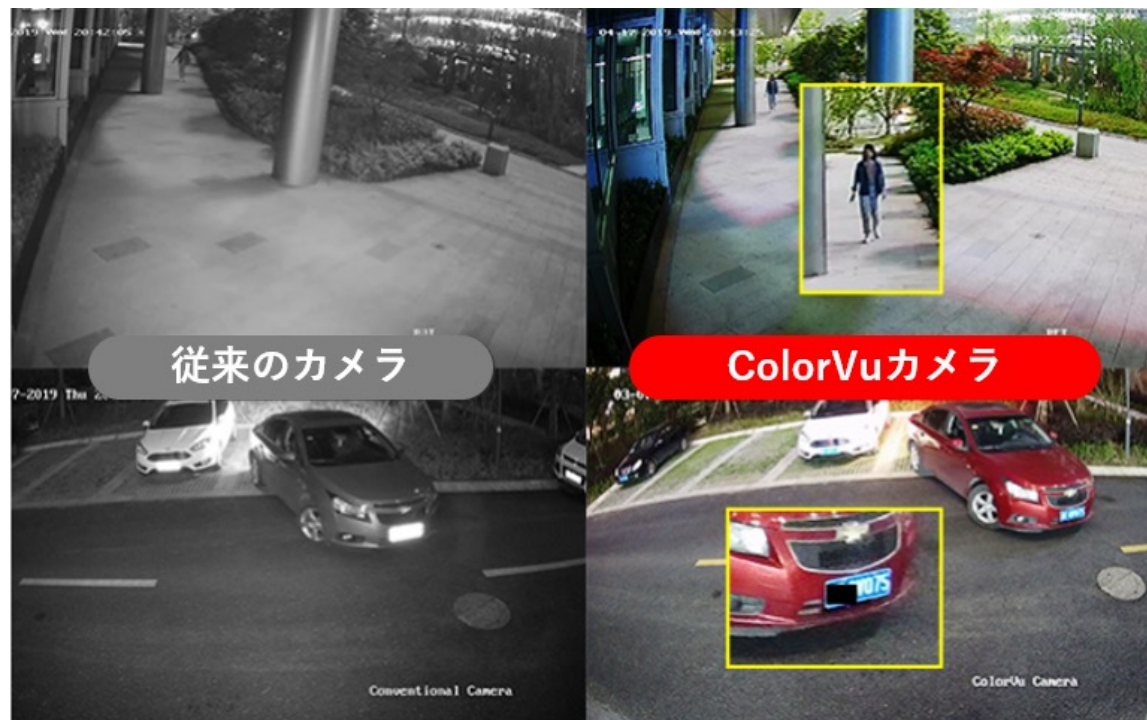
カラーが有るからこそ、真実を見極める

- 監視カメラは、近年 **高画質化・AI搭載など高機能搭載**になど急スピードで進化してきました。
その進化は、昼間や明るい（照度高い）シーンで活躍できる機能が主でした。
- 監視カメラが苦手とする、夜間や暗闇のシーンを“ColorVuテクノロジー”が克服。
非常に暗い環境の中でも、カメラがカラフルな映像を作り出すことを可能しました。



なぜカラーが必要

- 暗闇は、窃盗や不法侵入などトラブルを隠すことがあります。
- 従来の赤外線投光器付きカメラで夜間監視を行うと、**人物や車両など重要な対象物が背景に溶け込んでぼやけてしまい**詳細が確認できないことが多くありました。
- “色”は、検証や分析のためなど多くの場面で、**重要となる情報**です。
しかし、従来の監視カメラは（夜間）白黒画像のため、重要な情報を失っていました。
ColorVuテクノロジーは、この共通の課題を解決可能にしました。



ColorVuテクノロジーとは

HIKVISION®

- 高度なレンズと高性能センサーという2つのハードウェア技術の飛躍的な進歩により、低照度でも細部まで鮮明に映し出すことが可能になりました。
- ColorVuカメラは、非常に暗いシーンで、補助光と相乗効果を発揮して、必要なときにカラフルで精細な映像を表現します。



夜間映像のパフォーマンス比較


HIKVISION®

 早朝（午前6:00）



従来のカメラ

ColorVuカメラ

 日中（午前10:00）



従来のカメラ


ColorVuカメラ

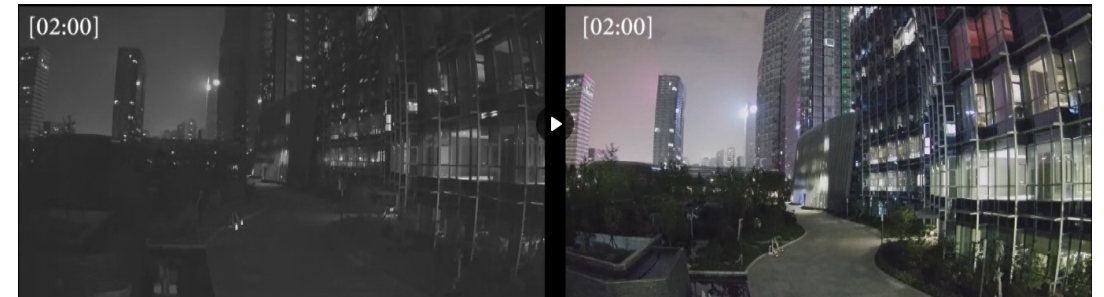
 夜（午後19:00）



従来のカメラ

ColorVuカメラ

 深夜（午前2:00）



従来のカメラ

ColorVuカメラ

ColorVu監視カメラシリーズの特徴

24時間365日 カラフルなイメージ

昼夜問わず、常にカラーで監視カメラの映像を表示します。



ディープラーニングに基づく 人物・車両ターゲット分類

ディープラーニング（深層学習）に基づき、人・車をターゲット認識し、動物や草木などでの誤認識を防ぎます。



侵入者に対する警告 アクティブなストロボライト／オーディオアラーム

ディープラーニング（深層学習）に基づき、人・車をターゲット認識し、動物や草木などでの誤認識を防ぎます。《対象機種：DS-2CD2047G2-LU》



ColorVu監視カメラシリーズの効果的活用

セキュリティゾーンをより高い映像セキュリティで強化できます。

●屋外セキュリティ強化

個人住宅・集合住宅など、昼夜視覚になる場所のセキュリティ強化



●公共の場でのセキュリティ強化

公園・博物館などの敷地、夜間人気が少なく、うっそうとした場所のセキュリティ強化



●暗闇でのセキュリティ強化

神社の賽銭置き場など、夜間暗闇となり人の出入りが、容易に行える場所のセキュリティ強化



実機での撮影画像比較



2MP 超低照度対応電動VFバレット型HD-TVIカメラ
DS-2CC12D9T-AIT3ZE



ColorVu 2MP 電動VFバレット型HD-TVIカメラ
DS-2CE19DF8T-AZE

ColorVuシリーズ ラインナップ

下記URLよりご覧いただけます。

https://securitydesign.bcart.jp/list.php?b_id=11



Security Design, Inc.

「その手があったか」を、次々と。